

琉球大学学術リポジトリ

1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.2

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込みに問題, ジョンソン次官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43897

104

大塚 宗平 半田 米長 榎 科

総理に対する報告 (沖縄内政) 44.10.7 米長

10月7日 総理に対する報告 出席者 大塚 宗平 半田 米長 榎 科 米長 榎 科

米長 榎 科 榎 科 榎 科 榎 科

1. 軍人と民衆との関係は、軍事的見地より

の重要性は少く、大塚 宗平 (b) 沖縄の戦術核

は、経済的にも容易でなく、軍事的にも低下を危

惧は、(a) 米長 榎 科 榎 科 榎 科 榎 科

で、米長 榎 科 (b) 沖縄 台湾 への攻撃に

達 100 あり、核は、今作を、島嶼 12 大規模の

例も、通達時、核があるか否か、或は、核がある

(通達時の指法)

思いつくとは、見れば、核は、非核 2 行くと

以上が、核 12 112 申出 2 来る と見られる。

以上が、核 12 112 の 現状 である。

総理 - 「非常事態」とは、何か、核の存在、何か、何か、非常事態か?

米長 榎 科 - 事後 2 4 以前 の 状態 である。相手方 の 兵力 情報 等 により、事後 2 4 以前 の 予期 される

よる事案のあらる。抑述の理済からし核
 は使用より、事案の発生を防止するに必要
 味がある故、帽は密にならざるを得ない。
 総理— 通達時に一旦報告し、あとは事案に
 応じ黙って持たせる上、そのことを考へてい
 るか。
 米局長— 通達時報告、再検心は事案の発生と
 之らと之らとの考へていふと見ると、半分の
 心配するは事案の発生、抑述の理済の
 おきである。
 総理— 非常事案の必要と云ふことは、
 答へる。通達時報告と云ふことは、持たすだけ
 が、特種施設の如きも、これをしていふのか。

米局長— 特種施設をこれにしては再検心
 も必要ないから、そのことは考へられぬし、又
 之を考へさせることが、我々の利益にはなると思
 はない。
 総理— 現に沖縄にどうか核があるのか、
 どうか特種施設があるのか、分らない。
 又、それを使う様な施設はあるのか、どうか
 分らない。若し分らないなら、量に
 意味がない。更に非常事案と云ふことも、
 分らない。成程核の同僚は、使
 なければならぬと云ふことは分らない。事案を
 考へないで、下手な使われ方も、
 分らない。
 米局長— 同僚は、即ちの態勢にあると、
 考へていふ。

もあつた。今のまゝ(余)深入りには米側
から、何に持ての意見ありと推測される

ことになり、報いにくかつた。検視の御持
可あるに於ては、更に話を致すべし。

検視 — 検防等との兼ね合いあり、米側が
核を何に認めさせざる、是に何の如く

自核武蔵いよと言つた。米側も何の如く
はなしか

米局長 — 何か自核武蔵いよと言つてい
る。何の如く米側は核の如何に認めざる

といふか。米側は、今迄は、長が有る。

検視 — 何か不完全武蔵ありと云ふこと
は、国民に知らせるべきこと、非核三原則の

「持てさせず」は、誤りであるかと反答する。

の面では、不完全武蔵が、どうすべきか、と云う
ことを、もとより、明らかにすべきであらうかと

考へていふ。さうか、しいことか、備へた、この苦勞は
検視に、たゞ、おまかせ、と云ふ。

米局長 — 運送時に核があるかないか、分らない
或は核がある、と云うこと、よ、い、な、す、明日に

い、は、片、付、く、か、運送時核検査と云うこと
で、な、け、れ、ば、な、ら、ない、と云うこと、と、承、知、して

米側と話をし、米側も核があること、
主として、11月の核が成立すると云うこと、は

思はれず、我々も、是は、運送時検査と云う
こと、に、~~は~~、持、つ、て、行、か、な、け、れ、ば、な、ら、ぬ、と

云う心境で、や、つ、て、い、ふ。

検視 — 11月、米側は、どうするつもりか、何の如く

~~の下の不完全武装だから、どうするかが
 去ることをわらうか、それはどうあるか
 とも尋ねる。その中で、どうあるか
 が多いか、この場合は、原理にならざる
 かの、表層にのみ分る
 19日、米側は、どうあるか、どうあるか、
 の下、これは分る、これは、米側の
 見解を日側、に、承知させる、後、得に、
 来る、19日、に、米側、に、
 ことを、い、い、い、い、
 米側、に、米側、に、米側、に、
 米側、に、米側、に、米側、に、
 米側、に、米側、に、米側、に、
 米側、に、米側、に、米側、に、~~

手紙と云ふことであるが、強人書付け、NEATO
 云々の攻撃を拒き、辞すれば、意味がな
 くなる。先大使より、申入れと云ふこと
 が可能であるか、検討中である。
 原理 - 手紙と云ふ、即ち、迅速に、
 安全保障を、傷つ、云々、
 と云ふ、趣意である。外交系路、
 米側、に、米側、に、米側、に、